

発刊のことば

野間清治顕彰会会長 森 壽 作



野間清治顕彰会が誕生して間もなく四年になろうとしています。今日まで講談社の創立者である野間清治の偉業を尊び、桐生市民の先輩を誇りとする市民の共感と賛意を得ながら、又、講談社並びに講談社社友会の皆様の心温まるご支援を頂きながら、文化講演会・展示会等々の活動を行って参りました。平成十年、野間文庫のあります桐生市立図書館の前庭に

「志あるところ道自ら生ず」これを追求すること真剣なれ道は近きになり

野間清治

と刻まれた顕彰碑が建てられたことも記憶に新しいところでもあります。そしてこの度、本会の活動の一つとして、桐生市及び桐生広域圏における偉人、先覚者の業績や産業・教育・文化等の歴史をシリーズで冊子「ふるさとの風」を刊行することになりました。温故知新の精神でこのふるさとに新しい風を吹かせて、地域の振興と活性化を推進することになればと願っております。勿論第一集は「野間清治伝」であります。まず市民が野間清治が如何なる人物であるかを知って頂くことが大切であり、その偉業に触れ、市民として誇りを共感、共有することにつながって行くものと考えております。これから第二集、第三集と次々と「ふるさとの風」を発刊していくことになりましたが、その発刊毎に、市民の共感、共有するものが着実に増加していくことになり、私たち桐生市民は新世紀を迎えて、大きな力を貯えることになりました。豊かな自然、歴史、伝統文化(祭り)、伝統産業、伝統的建造物等々を共有する桐生、心の時代と言われる二十一世紀の桐生はこの「ふるさとの風」に触発され、育まれ、真の意味で豊かな社会の扉を開くことになるものと期待しています。

終わりに、野間清治顕彰会の生みの親、河原井源次名誉会長の並外れた実行力、行動力にあらためて敬意を表し、感謝申し上げますとともに今後の御指導をお願いする次第であります。